



JPI催しのご案内

2022
4

公益社団法人日本包装技術協会

— 2022年度の本催しについて —2022年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。**●開催要領****日 時** ①令和4年4月20日(水) 15:00～16:00 / ②令和4年4月21日(木) 13:30～15:00**参加費** JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名**① 4月20日(水) 15:00～16:00 JPI本部主催****【テーマ】「Loop」向け商品の開発ストーリー**

Loop（ループ）とは、従来、使い捨てられていた日用消耗品や食品などの容器や商品パッケージを、ステンレスやガラスなど耐久性の高いものに変え、リユースを可能にする新たな循環型ショッピングプラットフォームです。2019年よりアメリカとフランスでスタートし、2021年5月に日本での実証実験がスタートしました。私たち株式会社ロッテは、Loopのコンセプトに共感し、キシリトールガムで専用商品を開発しました。今回の講演では、Loop向け商品の開発ストーリーを担当者の苦労話も交えてお話しします。リユース可能容器の開発はもちろん、商流や洗浄工程の確認など、Loopへの商品提供にご興味のある会員様が、商品発売までにどのような準備が必要かをイメージしていただける内容にする予定です。

【講 師】 株式会社 ロッテ ESG推進部 サステナビリティ推進課 課長
株式会社 ロッテ 中央研究所 パッケージ研究課 主査飯 田 智 晴 氏
藤 原 普 夫 氏**② 4月21日(木) 13:30～15:00 JPI本部主催****【テーマ】軟包材の環境負荷低減 ～水性グラビア印刷による環境負荷低減の効果と課題～**

当社が軟包装印刷で行っている水性グラビア印刷は、開発から25年、当社製造製品の8割を占める基幹技術となっています。水性グラビア印刷は、軟包装で主流となっている油性グラビア印刷などに比べ、VOCや二酸化炭素などの排出量を低く抑えることができます。環境負荷低減効果について、LCAの観点からご紹介するとともに、大きなコストを掛けず行える、実効性ある環境負荷低減策などをご提案します。
また、現行水性グラビア印刷の抱える課題を解決する、次世代の水性グラビア印刷の開発状況についてもご紹介いたします。

【講 師】 富士特殊紙業株式会社 営業本部 CS室 課長

鈴 木 貴 史 氏

申 込 要 領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までお願いいたします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会（ウェビナー）になります。
申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いいたします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>**◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆**〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

第28回

JPI包装人材育成コース

包装新人研修コース

包装にこれから携わる人の入門講座

開催日 2022年4月7日(木)・8日(金) 2日間

受講対象 新年度入社される方 入社1~2年の方

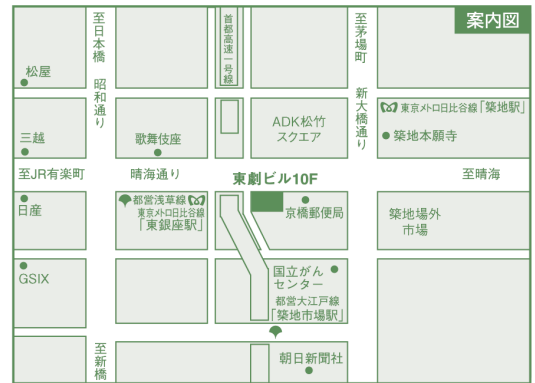
主催 公益社団法人日本包装技術協会

ご受講のご案内

企業にとって、人材を育てることは、財産を育てるということであり、企業の未来を切り拓く力を育てることになります。また、これらの人材が戦力として、いかに早く活躍できるかも大きなポイントになります。当コースでは、各界の専門家を講師に招き、包装全般に渡る基礎知識の習得から、昨今、包装業界が直面している環境問題・法律問題等に至るまで、包装を判りやすく体系的に解説します。また、研修を通して、受講生間で交流を深め、今後のネットワーク作りに役立てることが出来ます。包装の概念を理解し、“他者より豊富な知識を持っている”という自信を最初に与えることにより、更なる自己啓発も可能となります。どうぞ、当コースを貴社新人教育の一環としてご利用くださいますようお願い申し上げます。

開催要領

- 日時** 2022年4月7日(木)・8日(金) 2日間
- 会場** 公益社団法人日本包装技術協会 A会議室(案内図参照)
東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階
- 定員** 30名(最小催行人数 20名)
- 受講料** 会員企業 1名38,500円(消費税10%・テキスト代、昼食2日分含む)
一般 1名49,500円(消費税10%・テキスト代、昼食2日分含む)
- 申込締切** 2022年4月1日(金)まで
(但し、定員になり次第締め切らせていただきます)
*受講者が決まっていない場合でも、先に受講枠を確保できますので、事務局までお問合せ下さい。
*コロナ禍での緊急事態宣言などにより会場での開催が難しくなった場合は、オンライン配信(Zoom)での講義に変更させて頂く可能性があります。



お申込み方法

- 最終ページ申込書に必要事項を全てご記入の上、FAX(03-3543-8970)にてお申込み下さい。協会HPからのお申込みも出来ます。協会HP:<http://www.jpi.or.jp>
- 申し込まれた方に後日受講証・請求書をお送りします。
- 受講費は、請求書記載銀行へ開催前日までに銀行振込にてお支払い下さい。
- 受講者の方が当日都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えございません。

お問合せ並びにお申込み先

公益社団法人日本包装技術協会
 包装新人研修コース係 担当:佐藤
 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10階
 TEL.03-3543-1189 / FAX.03-3543-8970
 e-mail : satou@jpi.or.jp 協会HP : <http://www.jpi.or.jp>

個人情報の取り扱いについて

- 個人情報は「第28回包装新人研修コース」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
- 受講申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

公益社団法人日本包装技術協会 各種研修活動のご案内

■人材育成コース

- 1 包装新人研修コース (4月開催)**
入社1~2年目の新人を対象に初歩の一般的な包装基礎知識の習得を目指します。
- 2 包装基礎コース (5月開催)**
入社3年目以降、または新たに包装分野に就かれる方を対象に、包装の全ての分野にわたり短期間習得を目指します。
- 3 包装管理士講座 (6月開催)**
包装基礎コースの内容より一歩踏み込んだ広義の専門知識の習得を目指します。一般講義、グループ討議、ケーススタディ等合宿を通して交流親睦を図ります。
- 4 包装専士講座 (6月開催)**
専門分野の深度化と高度化を目指します。輸送包装・食品包装・包装材料・医薬品包装の4コースを開講予定。

■専門別人材育成コース

- 5 プレキシブルパッケージコース (11月開催)**
- 6 食品包装コース (11月~3月開催)**
食品包装に必要な知識と最新情報について月1回の頻度で計5回講義を行います。
- 7 緩衝包装設計コース (1月開催)**
緩衝包装の目的、力学基礎、設計技法を実際の緩衝設計プロセスに沿いながら解説します。
- 8 段ボール包装設計コース (2月開催)**
主に初心者を対象に段ボールの特性を学び、実習時に段ボール箱を作成します。

■時事テーマ別講演会

- 9 化粧品包装セミナー (7月開催)**
化粧品包装のデザイン、新技術、包材、化粧品業界の動向についてプログラム編成します。

⑩ 包装材料セミナー (1月開催)

新包材・開発事例・包装資材にまつわる問題や法律の説明、素材別マーケット動向について紹介します。

⑪ パッケージイノベーションセミナー (2月開催)

新しい包装の価値を創出するための情報の紹介を中心に、デザイン・販売戦略・分析情報・環境対応事例・UD・消費者へのPR等様々な分野からのテーマでプログラムを編成します。

⑫ 包装近未来シンポジウム (3月開催)

2020年に向けたグローバル戦略・サステナビリティ社会・包装新技術・変わる消費者の動向を探る事を目的として開催します。プログラム後半にパネルディスカッションを行います。

⑬ 医薬品包装セミナー (3月開催)

医薬品包装の法規、新技術、包材、医薬品業界の動向についてプログラムを編成します。

詳細は当会ホームページをご覧ください。URL : <https://www.jpi.or.jp/>